

シンポジウム 沖縄県における天然ガスの利活用について ～島のエネルギーでクリーンな沖縄を～

主催 沖縄県

■開催目的

沖縄県は、エネルギーの約99%を石油や石炭などの化石燃料に依存しており、エネルギー自給率の向上や安定供給の確保、二酸化炭素排出量の低減が大きな課題となっております。

県では、課題の解決に向けて様々な施策を実施しておりますが、これまでの調査等により、本島中南部や宮古島に賦存が確認されている天然ガスは、地産のエネルギーとして、その有効活用が期待されております。

このことから、県は、天然ガスの賦存量等の把握を目的とした調査を実施するとともに、有識者らで構成する「天然ガス資源有効活用検討委員会」を設置し、有効活用の方策等について検討を行っております。

については、天然ガスのこれまでの調査結果や今後の活用方策等を広く県民の皆さまに公表するため、下記によりシンポジウムを開催いたしますので、ご案内いたします。

日時：平成24年2月13日（月）15：00～18：00（開場：14：30）
場所：かりゆしアーバンリゾート・那覇 6階 カナイの間
参加定員：200名程度 参加資格：特になし 参加費無料

《開催プログラム》

開 会

1. 基調講演① 「国内外のエネルギー事情」

講演者：芦田 讓 京都大学 名誉教授

2. 基調講演② 「沖縄県における水溶性天然ガスの利活用について」

講演者：千住 智信 琉球大学 工学部 教授

3. 事業報告 「天然ガス資源開発調査事業 調査報告」

報告：加藤 進 地球科学総合研究所 常務取締役

～休 憩～

4. パネルディスカッション

「沖縄県における天然ガス有効利用の可能性」

ファシリテータ 千住 智信 琉球大学 工学部 教授
パネラー

芦田 讓

京都大学 名誉教授

大見謝 恒慈路

南城ユインチ 鉱山所長

平良 敏昭

沖縄県商工労働部長

加藤 進

地球科学総合研究所 常務取締役

5. 質疑応答

閉 会

お問い合わせ先：株式会社 国建 地域計画部（担当 宮平） TEL：098-861-0578

沖縄県商工労働部産業政策課（担当 諸見里） TEL：098-866-2330